

1 県の施策に関する提案

【奨励賞】 いばらき大好き週間（仮称）の導入	
提案者：管財課 主事 助川 寛智	
提案内容	表彰理由
<p>茨城県民の郷土愛を育むとともに、茨城に関する様々な知識を深める“いばらき大好き週間（仮称）”を創設する。</p> <p>この期間に「茨城県民の歌」の普及や、NHKの「わいわい茨城スタジオ」や新聞社などと連携した茨城の様々な知識と魅力の情報発信等を行う。また、県内各種施設の入場割引やイベントなどを企画立案する。</p>	<p>提案内容は、郷土愛をはぐくみ、改めて茨城県の歴史や文化を見つめ直す機会としての効果が大きいものと思われる。</p> <p>例えば、県民の日を中心に「週間」を設け、学校教育の場や県庁舎の広報コーナー、メディアを活用しての情報発信、県民の地域活動への参加促進を図っている「大好き茨城県民運動」との連携など、さまざまな展開が期待できる。</p> <p>まず、県職員が「茨城県」を深く理解する週間としてはじめていくことも意義がある。</p>

※ 最優秀賞・優秀賞：該当なし

2 事務改善・県民サービスの改善に関する提案

【優秀賞】 より簡単に旅費計算を	
提案者：古河産業技術専門学院 係長 田村 礼子	
提案内容	表彰理由
<p>これまで勤務公所を発着地としていた旅行命令を、本年6月から、合理的理由がある場合には、合理的な行動と節約に資するため、出発地と帰着地の異なる出張命令（直行・直帰）が可能となった。この場合の旅費計算については、現行の旅費計算システムの機械計算では対応できず、手計算による特例処理が必要となっている。</p> <p>しかし、現行の旅費計算システムにおいて、帰路交通コードに「1」（公用車使用のコード）を入力することにより、出力した旅行命令票への必要事項の追記作業は残るが、機械計算による処理が可能となる。</p> <p>これにより、旅費計算システムを変更することなく、大幅な事務量の削減、旅費計算の誤り防止を図ることができる。</p>	<p>手計算による特例処理を行わなければならない旅費の計算を、現行システムの入力方法の工夫により機械計算させようとする独創性豊かな提案である。</p> <p>現行システムの機能を最大限に活用することにより、システム変更を要せずに旅費事務の大幅な簡略化が見込める。</p>

【奨励賞】 各種事務の手引きの一括電子化	
提案者：筑西地域農業改良普及センター 主任 横須賀 綾	
提案内容	表彰理由
<p>現在紙ベースで配布されている各種事務の手引きをPDFファイル等での電子配布とし、印刷費用の削減及び省資源化を図るとともに、常に最新の内容を掲載し適正な事務を行う。</p> <p>配布は行政情報ネットワークのファイルへ掲載するほか、一括掲載も行い、職員が容易に入手できるようにする。また、各種FAQなども合わせて掲載する。</p>	<p>冊子で配布されている手引き等を電子ファイル化し、ネットワークにより配布することは、検索の効率化、印刷経費の削減、省資源化、さらには省スペース化が見込める。</p> <p>また、手引き等の改定の際も、所管課が掲載ファイルを直ちに更新できるため、最新の情報の閲覧が可能であり、適正な事務の執行にも寄与する。</p>

※ 最優秀賞：該当なし